

国立市 交通安全計画

KUNITACHI
ROAD SAFETY
PLAN

国立市

国立市交通安全計画の策定にあたって

現在の日本の社会経済情勢は、本格的な人口減少社会・超少子高齢社会の到来をはじめ、AI（人工知能）やRPA（ロボットによる業務自動化）等の新技術の発達、経済の縮小もあいまって国・地方を問わず、深刻化する財政状況の悪化などにより、日々刻々と変化しています。



交通環境においては、自動ブレーキ等の先進技術を備えた安全運転サポート車の普及や自動走行技術の開発等がなされ、新たな時代を迎えようとしています。

このように変化する社会経済情勢の中においても、生活を支える交通環境を安全なものとする事は、市民の不変の願いであります。今般、国立市では、交通事故発生時に被害者となりやすい、高齢者、子ども、しょうがいしゃをはじめ、全ての市民が安心して移動できる交通事故のない環境を目指すため、総合的計画として第1次国立市交通安全計画を策定いたしました。

本計画では、「子どもの交通安全の確保」、「高齢者の交通安全の確保」、「歩行者の交通安全の確保」、「自転車の安全利用の推進」を重点課題に設定し、各課題に対応した施策を実施し、関係機関や団体、市民等と一体となり、交通に関する課題を着実に解決していきます。

最後に、この計画を策定するに当たり、ご尽力いただきました関係機関の皆様をはじめ、意見募集にご協力いただきました市民の皆様、並びに市議会の皆様に心よりお礼申し上げます。

令和元（2019）年11月

永見 理夫

目次

第1章 はじめに	4
1 計画策定の主旨	4
2 計画の位置づけ	4
3 計画期間	5
4 本計画の目標	5
5 計画の推進	6
第2章 交通事故等の状況	7
1 交通情勢	7
1-1 人口	7
1-2 道路現況	10
1-3 登録自動車台数	10
1-4 運転免許保有者数	11
1-5 交通量	12
2 交通事故件数等	16
2-1 交通事故件数・死傷者数	16
2-2 事故発生件数に関する他市との比較	17
3 年齢層別負傷者数	20
4 子どもの交通事故死傷者数	21
5 高齢者の交通事故死傷者数	22
6 状態別（自転車乗用中・歩行中）の交通事故の当事者数	23
7 路線別交通事故発生件数	26
8 交通事故発生箇所	27
9 路線別車両速度	29
10 車両速度超過割合と急減速発生位置（ETC2.0）	31
11 交通事故等の考察	32
第3章 重点課題 ～「住みたい」「住み続けたい」まちの実現を目指して～	34
1 子どもの交通安全の確保	34
2 高齢者の交通安全の確保	34
3 歩行者の交通安全の確保	35
4 自転車の安全利用の推進	35
第4章 基本方針・具体的施策	36
基本方針1 交通安全意識の啓発	36
1 交通安全教室	36
2 交通安全運動	37

3	運転免許自主返納及び運転経歴証明制度の普及	37
4	交通安全指導	38
5	自転車用ヘルメット着用促進	38
6	しょうがいしゃの交通安全	38
7	外国人の交通安全	38
8	広報	38
基本方針2 道路・交通環境の整備		39
1	道路の整備・改良	39
2	看板・横断旗の設置	42
3	公共交通の利用促進（コミュニティバス・ワゴン、路線バス等）	43
4	コミュニティサイクル	43
5	鉄道路切	43
6	駅施設	43
基本方針3 交通秩序の維持・向上		44
1	取締り	44
2	放置自転車の抑制	44
3	自転車駐車場の整備	44
4	ゾーン30の設置	46
5	飲酒運転の根絶	46
6	スクールゾーンを活用した児童の安全確保	46
基本方針4 点検・救助救急体制		47
1	通学路点検	47
2	重傷事故発生道路の点検	47
3	救助救急体制	47
基本方針・具体的施策と重点課題の対応表		48
第5章 今後の取り組み		49
1	P D C Aサイクルマネジメントによる計画の進捗管理	49
資料編		50
1	国立市交通安全対策審議会名簿（平成30年度～令和元年度）	50
2	国立市交通安全計画庁内検討会委員名簿（平成30年度～令和元年度）	51
3	条例・要綱	52
4	計画策定の経過	58
5	用語集	59
6	巻末資料一覧	60